

農作物のダイオキシン類調査結果について

1 趣旨

県では地元田子町からの要望を受け、田子町の主要な農作物である枝豆、水稲、にんにくの安全性を確認し、風評被害を未然に防止するため、平成15年度よりそれぞれ3地点（熊原川上流域、現場付近、熊原川下流域）で収穫されたものについて、ダイオキシン類調査を行っています。本年度もこれらの主要な農作物のダイオキシン類調査を実施しました。

2 検体採取日

枝豆 平成21年9月10日
水稲 平成21年11月18日
にんにく 平成21年9月10日

3 調査結果

平成21年度の調査結果（毒性等量）は次のとおりです。
調査結果はこれまでの調査結果と同様に十分低い値でした。

(1) 枝豆 (単位：pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成21年度調査結果 (毒性等量)	これまでの調査結果	
		平成20年度	平成15～19年度
熊原川上流域	0.0000084	0.00078	0～0.00079
不法投棄現場付近	0.000010	0.0026	0～0.0021
熊原川下流域	0.0000064	0.00058	0～0.00089

※1 毒性等量とは、各化合物の実測濃度に毒性等価係数（TEQ）を用いて換算した値で、今回の調査ではWHO-TEF（2006）で定めたTEQを適用して算出（以下同様）。

※2 定量下限未満の値を0として算出（以下同様）。

(2) 水稲 (単位：pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成21年度調査結果 (毒性等量)	これまでの調査結果	
		平成20年度	平成15～19年度
熊原川上流域	0.0000048	0.0000033	0～0.0000090
不法投棄現場付近	0.00017	0.0000043	0～0.000018
熊原川下流域	0.0000047	0.0000025	0～0.000020

(3) にんにく (単位：pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成21年度調査結果 (毒性等量)	これまでの調査結果	
		平成20年度	平成15～19年度
熊原川上流域	0.0000023	0.0011	0～0.014
不法投棄現場付近	0.000050	0.000020	0～0.00071
熊原川下流域	0.0000048	0.00089	0～0.00051

【参考】

公表されている国（農林水産省）が実施した農作物のダイオキシン類調査結果
(単位：pg-TEQ/g-wet)

作物名	毒性等量（平均値）
枝豆	0.000098～0.0040(0.0020)
水稲	0.000011～0.0031(0.00075)

※ 枝豆：平成14年度農用地土壌及び農作物に係るダイオキシン類実態調査

水稲：平成19年度農水産物中のダイオキシン類の実態調査

にんにく：公表された国の調査事例はありません。